

## 事前評価個表

整理番号	21
------	----

地域（地区）名	<small>な か かいふがわ</small> 那賀・海部川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	徳島県	対象市町村	<small>あなんし</small> 阿南市ほか4町
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は徳島県の南部に位置し、北は剣山系の諸連峰、西は石鎚山、中東山、赤城尾山等が南北に連なり挟まれた5市町からなっている。</p> <p>本地区の森林面積は128千ha（森林率86%）、対象民有林は123千ha（森林全体の96%）うち人工林は86千haとなっている。</p> <p>また、主に間伐が必要となるV～XⅡ 齢級のスギ・ヒノキ林は72%を占めており、これまでの事業においても計画的に森林整備を実施しているものの、木材価格の低迷による所有者の経営意欲の減退や、林業従事者の高齢化に伴う人手不足等の影響もあり、未整備森林も多く残されている。このままの状態では、森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすことが懸念されている。</p> <p>本県では、低コストでの素材生産による木材供給に取り組むとともに、多様化する木材ニーズへの対応を図る「新次元林業プロジェクト」を実施し、川上から川下までが一体的となった木材の生産・流通・加工体制の構築とそれらを担う新たな人材育成確保に取り組んでいるところである。</p> <p>このため本事業により水源涵養をはじめ地球の温暖化の防止や林産物の供給などの森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、効率的な施業に不可欠な路網整備と造林、保育、間伐、更新伐等の適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,010ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：6,705m 林道、林業専用道</p> <p>総事業費：6,577,156千円（税抜き6,089,960千円）</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.13 （総便益（B）= 36,838,705千円、総費用（C）= 8,910,511千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果の分析結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

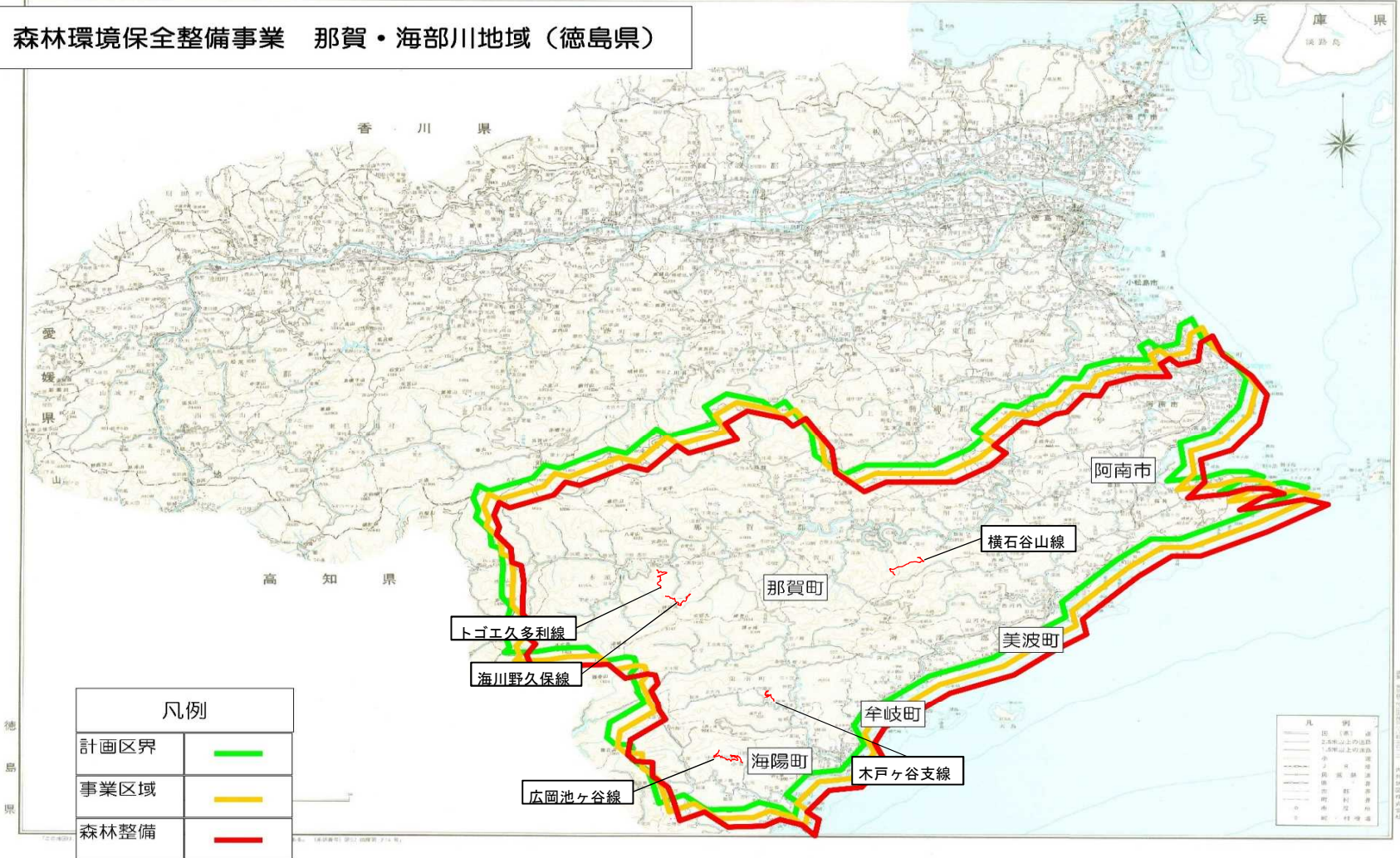
都道府県名: 徳島県

地域(地区)名: <sup>なか</sup>那賀・<sup>かいふがわ</sup>海部川

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源 <sup>かん</sup> 涵養便益	洪水防止便益	11,426,093	
	流域貯水便益	3,172,446	
	水質浄化便益	6,570,163	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,782,823	
環境保全便益	炭素固定便益	5,304,644	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	14,376	
	木材利用増進便益	31,585	
	木材生産確保・増進便益	2,010,756	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	9,780	
	森林管理等経費縮減便益	3,982	
	森林整備促進便益	2,512,057	
総 便 益 (B)		36,838,705	
総 費 用 (C)		8,910,511	
費用便益比	$B \div C = \frac{36,838,705}{8,910,511} = 4.13$		

森林環境保全整備事業 那賀・海部川地域（徳島県）



凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—

凡例	
—	国 道
—	主要地方道
—	一般地方道
—	河川
—	海岸線
—	市界
—	町界
—	村界
—	支線
—	支線